

応用行動分析学実践基礎講座 100+ (基礎50時間+実践100時間)

コース概要とスケジュール (2022年 9月開始)

受講前のオリエンテーション「Canvas でのウェブコースへの参加の仕方について」

- 9月8日 (木) 午後7時から8時30分まで もしくは
9月11日 (日) 午前10時から11時30分まで のどちらかを選択
※ 事前に案内通知、Canvasメール登録必須

第1週 : 9月12日 (月) — 9月18日 (日)

講義 : 「コースと実践課題の説明」 「視覚支援と環境の構造化」

- ▶ コースの実践課題 (事例研究) : それぞれの立場で現実的な行動変容の目標を決めるコースを通じて介入を行い、データを取り、グラフにし、レポートを提出する。* 1回目のゼミにて説明
- ▶ 行動の原理と応用行動分析学の前提たる基盤の考えについて学ぶ
- ▶ 様々な視覚支援と効果について学ぶ—その1

課題 : 1) フィールドワークに必要な書類を準備する (S V 合意書、機密保持、機能評価実施への合意などの契約に準ずる)

- 2) 事例研究で取り組むクライアントを決める
- 3) シナリオをもとに、D T T を実践し、動画を提出する
- 4) 文献を読みチャットにコメントを出しディスカッションに参加する

必ず読む文献 : D. M. ベア、M. M. ウルフ、T. R. リスレイ、中野良顕訳「応用行動分析学の現在のいくつかの次元」

RBT タスクリスト : A-1, A-6, C-3

ABAT タスクリスト : C-1, D-2, D-3, D-4, G-2

第2週 : 9月19日 (月) — 9月25日 (日)

講義 : 「行動の定義と測定 I」 「自閉症についての基礎知識」

- ▶ データ収集の準備、連続的測定手続き (頻度、持続時間など)、非連続的測定手続き (部分/全インターバル、瞬間タイムサンプリング、観察者間一致IOA など)、永続的所産による記録、データの記入/計算とグラフ化、行動と環境の客観的かつ測定可能な定義、信頼性と妥当性について学ぶ。
- ▶ 自閉症スペクトラム障害についての基礎知識を学ぶ (特徴、欠陥、3領域での障害、警戒すべき早期のレッドフラッグ、ASD に伴うリスクファクター、診断に伴う用語、併存しうる他の障害とそれらとの鑑別)

課題 :

- 1) フィールドワーク開始 (S V 合意書、機密保持、機能評価実施への合意などの契約に準ずること)。介入事例ケーススタディのために、クライアントの不適切行動を一つ標的に選び、客観的に定義しする。所定の用紙に記入し提出。
- 2) 文献のレビュー : BACB 発行の「応用行動分析学による自閉症スペクトラム障がいへの支援 : 保険医療のスポンサーと管理のための実践ガイドライン」を読み、チャットにコメントを出しディスカッションに参加する。

3) クイズ10問に答える

必ず読む文献：竹島浩司ほか訳。「応用行動分析学による自閉症スペクトラム障がいの支援：保健医療のスポンサーと管理のための実践ガイドライン」BACB 発行。

RBT タスクリスト：A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6

ABAT タスクリスト：A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6, A-7, B-2, C-1, C-2, C-3, C-4, G-1, G-2, G-4, G-5, G-6, G-7

第3週：9月26日（月）— 10月2日（日）

講義：「強化と弱化」「スキルの教え方 DTT, NET, PRT」「ABA のプログラムを理解する」

- ▶ スキル獲得計画書/プログラムの内容を理解する、そしてその計画書に基づいてセラピーセッションを準備する、強化の随伴性を用いる（条件性/非条件性強化、強化スケジュール）、DTT, NET の手続きを実行する、エラーコレクションとプロンプト、弁別訓練と刺激性制御の転移について学ぶ。

課題：

- 1) 「強化と弱化」に関するテーマでチャットにコメントを出しディスカッションに参加する
- 2) クイズ10問に答える
- 3) フィールドワーク：インダイレクトアセスメント（簡易機能査定インタビュー、MAS など）を行い、サマリー仮説を立てる。簡易機能査定インタビュー用紙を提出。

RBT タスクリスト：C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-7, C-8

ABAT タスクリスト：C-2, C-3, C-4, C-5, C-6, E-1, E-3, E-4, E-12, E-13, E-14, E-15, E-16, E-17, E-20, E-22, E-23

第4週：10月3日（月）— 10月9日（日）

講義：「問題行動にどう対応するか」「行動の機能とアセスメントその1」「消去手続き」

- ▶ 行動の機能評価手続きを支援する、不適切行動を減らす行動変容計画書の基本的内容を理解する、行動の機能について説明できる、分化強化手続きを実施する(DRA, DRO など)消去手続きを実行する術を学ぶ。

課題：

- 1) 「問題行動、不適切行動に対処する方法」に関するテーマでチャットにコメントを出しディスカッションに参加。
- 2) クイズ10問に答える
- 3) フィールドワーク：標的行動の測定方法を選び、直接的観察を開始する。ベースラインのデータをとりはじめる。
- 4) 5分以内のセラピー動画を提出-1（ベースライン）

RBT タスクリスト：B-3, D-1, D-2, D-4, D-5, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, F-1, F-2

ABAT タスクリスト：B-1, B-2, B-3, C-3, C-4, D-1, D-3, F-1, F-2, F-4, G-1, G-2, G-3

第5週：10月10日（月）－10月16日（日）

講義：「強化子拡張と刺激選好査定」「行動の測定その2」（グラフの見方、F A のグラフの特徴）

- ▶ 強化子拡張Expanded Community of Reinforcer ECR, 刺激選好査定、データ収集や測定方法とデータの特徴と偏り、グラフの見方とトレンド分析（決定プロトコル）について学ぶ。
- ▶ ゼミにおいて事例介入の中間発表開始（ベースラインデータ）

課題：

- 1) フィールドワーク：ベースラインデータを取り続ける
- 2) これまでのベースラインデータ、グラフを作成し、提出
- 3) クイズ10問に答える

RBT タスクリスト：A-1, A-2, A-3, A-4, A-6, B-1, B-3, E1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト：B-1, B-2, B-3, B-4, E-1, E-6, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6, G-7

第6週：10月17日（月）－10月23日（日）

講義：「問題行動を減らす・無くす手続きPBS/BIP」「行動の機能とアセスメントその2」「先行介入/動機づけ操作」「そのほかの弱化学手続き」「米国における IDEA, IEP」

- ▶ 積極的行動支援 PBS、行動の競合図、問題行動を維持する強化子の消去と代替行動の強化、オーバーコレクション、レスポンスコスト、タイムアウトなどの弱化学手続きの他、動機づけ操作などの先行介入についても学ぶ。また米国におけるIDEA や IEP について理解する。
- ▶ ゼミにて事例介入の中間発表（ベースラインデータ）

課題：

- 1) フィールドワーク：行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす PBS）を講師のアドバイスのもと作り、介入を実行する。データを取り、グラフ化する。
- 2) 5分以内のセラピー動画を提出-2
- 3) 「行動の機能に基づくセラピー」について感想をチャットに述べディスカッションに参加する。
- 4) クイズ10問に答える。

RBT タスクリスト：B-2, D-1, D-2, D-3, D-4, D-5, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト：B-1, B-2, B-3, B-6, C-4, D-1, E-1, E-5, E-6, F-1, F-2, F-3, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第7週：10月24日（月）－10月30日（日）

講義：「課題分析と連鎖化」「シェーピング」「プロンプト」「トークンエコノミー」

- ▶ 課題分析と連鎖化、シェーピング、プロンプト、プロンプトフェーディング、エラーコレクション、トークンエコノミー、刺激性制御の転移について学ぶ。
- ▶ ゼミにて事例介入の中間発表（ベースラインデータ）

課題：

- 1) フィールドワーク：行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らすPBS）を講師のアドバイスのもと作成し介入を実行する。データを取り、グラフ化する。
- 2) 課題分析を実際に行い、専用用紙を使い提出。また課題分析の動画を見てデータを取り、データシートを提出。
- 3) トークンエコノミーを使った経験か、これから使う計画についてチャットにて述べ、ディスカッションに参加する。
- 4) クイズ10問に答える

RBT タスクリスト:C-3, C-6, C-9, C-10, C-12, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト :B-1, B-2, B-3, C-4, E-2, E-3, E-4, E-6, E-7, E-12, E-13, E-18, E-19, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5

第8週：10月31日（月）— 11月6日（日）

講義：「認定行動技術士 RBT/ABA 技術士 ABAT としての倫理ガイドライン」

- ▶ 拘束、弱化学手続き、消去手続きなど特定の介入手続きに関わる倫理的問題、プロフェッショナルとしての行動、クライアントの尊厳、アドボカシー、HIPAA について、「RBT 向け倫理規約」「QABA 倫理コード」を学ぶ。

課題：

- 1) フィールドワーク：フィールドワーク：行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす PBS）を講師のアドバイスのもと作り介入を実行する。データを取りグラフ化する。
- 2) 5分以内のセラピー動画を提出-3
- 3) 倫理規範についてチャットにて述べ、ディスカッションに参加する。

RBT タスクリスト: E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, F-1, F-2, F-

3, F-4, F-5 ABAT タスクリスト :B-1, B-2, B-3, B-4, B-5

第9週：11月7日（月）— 11月13日（日）

講義：「視覚支援と CBT：社会スキルと家族の支援」「ターゲット（目標）の設定とデータの取り方」

- ▶ 認知行動療法、ソーシャルストーリー、ソーシャルシンキング、家族との連絡の工夫、クライアントの尊厳を優先したコミュニケーション、マストライアルとcold probe などについて学ぶ

課題：

- 1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らす PBS）を講師のアドバイスのもと作り介入を実行する。データを取りグラフ化する。
- 2) 個別アナログスーパービジョン（S V 合意書、機密保持、機能評価実施への合意などの契約に準ずること）。事前にセラピーの計画書を講師に知らせる。

RBT タスクリスト:C-6, C-8, C-9, C-10, C-12, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5, F-3, F-4, F-5

ABAT タスクリスト :B-1, B-5, D-1, D-2, D-3, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第10週：11月14日（月）－11月20日（日）

講義：「PBS/BIP と緊急時のプロトコル」

- ▶ 積極的行動支援のフルバージョンについて事例をもとに学ぶ。緊急時（他害/自傷や自然災害などの危険な行動/状況が生じた時の対応のプロトコルについて事例を学ぶ。

課題：

- 1) フィールドワーク：行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らすPBS）を講師のアドバイスのもと作成し介入を実行する。データを取り、グラフ化する。
- 2) 5分以内のセラピー動画を提出-4
- 3) 緊急プロトコルについてチャットにて述べ、ディスカッションに参加する。
- 4) クイズ10問に答える

RBT タスクリスト：D-1, D-6, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト：D-1, E-1, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第11週：11月21日（月）－11月27日（日）

講義：「言語行動と早期療育プログラム」「般化と維持」

- ▶ 言語行動理論、臨床への応用、VBMAPP/ABLIS-R、早期療育パッケージ（ドメイン、アセスメント、ゴール設定、プログラムとステップなど）、般化と維持のシステム化について学ぶ。

課題：

- 1) 行動変容のゴールとプログラム（不適切行動を減らすPBS）を講師のアドバイスのもと作成し介入を実行する。データを取り、グラフ化し、所定の書式を使ってレポートにまとめ、提出。
- 2) チャットにてケーススタディについて簡単に報告し、他者へのコメントを出す。
- 3) クイズ10問に答える

RBT タスクリスト：B-2, C-1, C-2, C-3, C-4, C-5, C-7, C-8, C-9, C-10, C-11, E-1, E-2, E-3, E-4, E-5

ABAT タスクリスト：B-1, C-5, C-7, D-1, E-8, E-9, E-10, E-11, E-16, E-20, E-21, G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6

第12週：11月28日（月）－12月4日（日）

ゼミにて言語行動セラピーのワークショップ

課題

- 1) 5分以内のセラピー動画を提出-5（言語行動セラピー）
- 2) 事例発表（シンポジウム）12月4日（日）午前9時から
- 3) 実技試験（ABAT, RBT）：12月4日（日）午後1時から
- 4) 筆記試験：最終提出日 12月11日（日）

事例報告：各自 10 分、グラフと可能であれば動画を使い、事例を口頭発表する。

実技試験：個別に課題の進捗状況に合わせて不測の部分を確認し補うため、必要に応じてシナリオが与えられる場合もあるが、基本的にインタビュー形式でおこなう。

場所：状況に応じてオンラインもしくは札幌市豊平区中の島 1 条 10 丁目 2-3 2 階 札幌 ABA
アカデミー（◆遠方からの参加は Zoom にての参加可能）

時間：9:00～17:00 予定

筆記試験：Canvas オンラインテスト 85 問 90 分

必須文献

R B T ハンドブック <https://www.bacb.com/rbt/>

QABA 倫理コード [QABA Code of Ethics \(qababoard.com\)](http://qababoard.com)

QABA 資格候補者用ハンドブック [QABA Code of Ethics \(qababoard.com\)](http://qababoard.com)

B A C B 倫理コード 2022 (cf. 2017 年の日本語訳)

「応用行動分析学による自閉症スペクトラム障がいの支援：保険医療のスポンサーと管理のための実践ガイドライン」竹島浩司ほか訳 BACB 発行

家族と共に行う積極的行動支援(Positive Behavioral Support) Joseph M. Lucyshyn, Robert H. Horner, Kathy

R. Ben 1996 年 7 月

PEAT Simple Steps Autism Simple Steps Autism ABA online training (google で機械翻訳)

副読本（推薦状）

1994(2003) 「わが子よ、声を聞かせて」キャサリン・モーリス著、河合洋監修、山村宜子訳、NHK出版

2013 「応用行動分析学」ジョン・O・クーパー、ティモシー・E・ヘロン、ウィリアム・L・ヒューワード共著、中野良顯訳 明石書店

2015 「行動分析家の倫理—責任ある実践へのガイドライン」ジョン・ペイリー（著）、メアリー・バーチ（著）、日本行動分析学会行動倫理研究会（翻訳）二瓶社

2017 (2015, 1997) 「問題行動解決支援ハンドブック」ロバート・E. オニールほか著。三田地真実ほか訳。金剛出版

ⁱ 通常 RBT は週に最低 10 時間は ABA を活用した現場での fieldwork/現場作業をしています。この基礎 講座では次のように定義された現場経験を最低週 10 時間 6 週間にわたり、コース開始時から終了時まで講義以外の時間に、体験することになります。：1. 標的行動を設定し、行動介入を行い、データを収集し、グラフ化する。2. 行動介入のための必要なアセスメントを行う。3. 行動分析的手法とパフォーマンスマネジメントのデザインを自分/他社の行動に対して用いる。4. ならびに行動分析プログラムの計画会議に出席する、プログラムに関わる文献のリサーチをする、プログラムについて個別に説明するなどの行動分析に直接関係する活動。5. 不明なこと、問題があった場合は速やかに指導者に連絡すること。6. 倫理規範に準じて以上を行うこと。この現場経験を記録するための書式を使って記録し、提出していただきます ⁱⁱRBT Registered Behavior Technician 資格取得用の試験についてはこちら<https://home.pearsonvue.com/bacb> RBT ハンドブック

<https://www.bacb.com/rbt/>